

大学生の受験者のお声を集めました。

食に携わる職業を目指す人 教育分野を目指す人等が スキルアップに取り入れています。

教育学部3年 佐藤優子さん

小学校の先生を目指しています。子ども達が健やかに成長し、勉強に集中してもらうためには食育は欠かせないものだと思います。食育基本法が制定され、教育の現場でも食育を指導することになっています。子ども達に教えるには先ず自分からと思い受験しました。テキストは食育の基本がコンパクトにまとまっており、今まで学校では学べなかったことを知ることができました。このテキストを使って子ども達に教えて行きたいと思います。

体育学科2年 齊藤健太さん

大学のバレーボール部に所属しています。将来はスポーツ関係のインストラクターか体育の先生になればと思っています。アスリートにとって、食事は練習と同じくらい大事です。学生の時間がある間に食に関する知識を習得し、先ずは自身の体力・精神力の強化につなげたいと思いましたが、前回の試験では79点!!(T-T)でも、勉強をしたことに価値があったと思います。次回は、余裕で合格する予定ですv(^o^)

法学部1年 大森祐二さん

大学に入学したばかりで、友達関係も忙しく自由な食事、コンビニでの簡単な食事をする機会が増え“このままの生活でいいのか??”と、疑問を持ち始めた頃に食の検定の存在を知りました。将来は弁護士を目指して猛勉強中ですが、食の検定の勉強を生かし、まずは健康な食生活を!司法試験に合格したら、食品メーカーの偽装問題が次々起こっていますが、弁護士になったら消費者の視点に立った活動をしたいと思います。

栄養学科2年 山口ひかるさん

栄養士を目指しているため、自分自身のスキルアップや食に関する資格を取りたいと思い受験しました。学校で学ぶことが出来ない現在の農業事情など、考えさせられることが多く、食の安全を考えるためには自分の国で食べるものは基本的に自分の国で作っていくべきだと考えるようになりました。就職後、家庭を持つことになると思いますが、子供達に実践することができる、わかりやすい食育の内容だと思います。

農学部4年 加藤慎二さん

食品の関係の仕事に就職が内定しています。食の安全が問題視される世の中になって、改めて食品の主要な材料である農産物を生産する農業の大切さを考えるようになりました。これから、食品メーカーで仕事をするようになりますが、食の検定で学んだ基本を忘れず、日本農業をこれからも応援していく活動をしていきたいと思っています。

さまざまな分野を目指し勉強している皆さんが、
自分自身の生活力の向上、
将来への準備のために活用されています。

食の検定の受験申込は、大学生協で